

東学園に入園・入学して

幼稚園

娘が入園する年になり幼稚園見学に伺わせて頂いた時に、先生方の子どもたちに対する温かく優しい個に対する丁寧な対応にとても安心できました。初めての集団生活の第一歩を是非東幼稚園で学ばせていただきたいと強く希望しました。

4月の慣らし保育期間の、ぴかぴか幼稚園からとても楽しみに通い毎日張り切って通わせて頂いています。幼稚園で習ってきた歌や、手遊びを歌ったり、出来事なども毎日話してくれたりしています。生き生き過ごしている様子に先生方が園児を大切に教育して下さっている事が、とても分かりました。

混合教育も、とても大事だと思っております。自然な環境で個性を受け入れながら関わり合う事が出来る事がとても良いと思います。

最も成長する大切な時期に、東幼稚園で貴重な3年間を大切に過ごしたいと思います。(年少0)

中学校

「東中学校を卒業した姉と同じ中学に進学したい」、娘の強い希望が叶ってこの度入学いたしました。

普段はおしゃべりな娘ですが、最近は疲れていくとなかなか話してくれません。私：「授業はどう?」、娘：「フツー」、私：「お友達は?」、娘：「フツー」...せつつきたい気持ちを抑え、少し時間をおいて聞いてみると「東中は楽しいのが当たり前」だそうなのです。なので「フツー」と言われたら、「楽しい」と解釈しないといけないと諭されました。なるほど、娘のぶっきらぼうな返事には、東中は楽しさの基準が違うという意味が込められていたのです。

楽しいからこそ、勉強や部活動が少し大変でも頑張れる、そしてそれが充実した中学校生活に結びつくのだと思います。この素晴らしい環境の下で娘がどのように成長していくのか、今から3年後がとても楽しみです。

(中1 0)

小学校

東学園に通う友人のお子さんに久しぶりに会った2年前。4年生だった彼は笑顔で真っ直ぐ人の目を見て話す優しい男の子で、初めて会った主人も好感を持ったことより、東学園に関心を持ちました。親が子どもにできることは、家庭では愛情を持って個性を褒め伸ばすこと。そして将来自分の翼で世界を力強く羽ばたいていけるよう、自信を芽生えさせ、様々な人と付き合うための力を身に付ける為、多くの経験ができる家庭外の環境を作つてあげることだと思います。

息子は、混合教育、縦割り清掃・宿泊学習などを通して多彩な経験ができる東っ子の仲間入りをしました。不安な入学式、6年生になりリーダーシップを発揮している友人のお子さんの心強いサポートを得て、息子はスムーズに学校生活に入ることができました。これから6年間、良い仲間とともに強く優しい翼を身に付けてくれることを祈っています。(小1E)

高専

季節はずれの小雪舞い散る中、息子は、初々しいネクタイ姿に笑顔で、落ち着いて、入学式にのぞむことができました。12年前、同じ講堂で行われた東幼稚園の入園式では、椅子からずり落ちたり、おしゃべりを始めたり、ドキドキだったことを懐かしく思い出します。

幼・小・中学校で、たくさんの行事を経験し、先生や友だちから刺激を受け、おかげさまで、明るく、前向きな子に育ってきました。高専に入学してからも、毎日、張り切って登校しています。部活体験を終え、先輩からも、いろいろな事を学んでいる様子です。

高専では、先生、先輩、友だちとのかかわりを通して、さまざまな経験を積み重ね、社会で生きていくための力を身につけていけるよう願っています。(高1 I)

編集後記

いよいよ新年度がスタートしました。みなさま、学園生活は慣れてきましたでしょうか?わが家は長女が6年生となり、小学校生活もラスト1年となりました。最後の1年も思いっきり楽しんで過ごしてもらいたいですね。

編集委員会も、新しいメンバーが2名参加してスタートしています。昨年は、学園創設50周年という一つの節目でしたが、保護者の皆さまには原稿執筆のご協力を賜り、ありがとうございました。今後も学園の活動を、分かりやすくタイムリーに伝えていきたいと思いますので、どうぞご協力のほどよろしくお願いいたします。(S)

●編集委員会(編集スタッフ)

高等専修	古谷道代	伊藤千鶴
中学校	早川康子	尾崎直子
小学校	飯塚希美	菅野真貴子
幼稚園	保谷梨紗	工藤阿貴
高等専修	家住隆士	臼井均
中学校	松井幹和	内藤忠男
小学校	咲間全雄	遠藤崇浩
		荒井秀伸



発行:武蔵野東学園連合後援会だより編集委員会 第65号 平成27年5月28日発行



武蔵野東学園 連合後援会だより



こんにちは。連合後援会だより、本年度第一号をお届けします。昨年度は50周年の年もあり、紙面もかなり盛り上りました。本年度も負けずに、にぎやかな紙面で学園の「今」をお届けします。お楽しみに!(M)

継 紿 統 絡 繼

震災後の糸から50周年の結まで、ややこじつけですが、糸へんに繋いできたテーマですが、いよいよ最終局面です。50周年以降も東学園イズムを継続していく、単に続くのではなく能動的に継いでいく願いを込めて。

■平成27年度連合後援会総会報告

去る4月21日(火)北原記念館スカラーホールにて、各園校及びむらさき会の会長、役員、後援会会員、保護者、及び学園側からは理事長以下各園校の校長、教頭職他の出席により、連合後援会総会並びにむらさき会総会が開催されました。本会では、①平成26年度の事業・会計報告、承認 ②平成27年度各園校会長、五役選出・承認 ③平成27年度の事業目標・会計予算、承認④各園校役員の紹介他が行われました。会長、役員代表の承認をはじめ、全ての議事が滞りなく進み、承認されましたことをご報告いたします。

小学校

- ①連合後援会事業目標への協力
- ②『Joy Day』を含め、会員相互の輪を広げる活動の推進
- ③図書館支援ボランティア活動(読み聞かせ・本の修理・図書館の整備)の継続

中学校

- ①連合後援会事業目標への協力
- ②私学助成活動への協力



むらさき会

- ①連合後援会事業目標への協力
- ②「すべての会員の子弟は我が子である」を合言葉に会運営の推進
- ③会員相互の理解と親睦を兼ねた行事の開催
 - ・むらさき親子運動会 5月23日(土)
 - ・保護者会・慰労会 - 5月23日(土)
 - ・保護者会・新年会 - 平成28年1月16日(土)
- ④「可能性をひろげて」の編集発行
- ⑤むらさきOB会との連携(地域ネットワーク等)

幼稚園

- ①連合後援会事業目標への協力
- ②子どもを中心とした明るく温かい幼稚園づくりへの協力
- ③保護者の趣味や特技を生かした活動の推進
- ④地域と和やかな関係づくりの推進

高等専修

- ①連合後援会事業目標への協力
- ②学校行事への保護者の積極的な参加と教育への協力
- ③家庭での親と子の対話の充実

幼稚園後援会 会長 与語 浩二

武蔵野東幼稚園後援会
長の与語浩二（よごひろじ）と申します。長男が現在武蔵野東小学校の5年生、そして次男が武蔵野東幼稚園年中でお世話になっております。昨年度に引き続き、本年度も後援会長を務めさせていただきます。

昨年1年は後援会長として色々な参加させていただきましたが、園児の元気の良さ、はつらつとした諸先生方のご指導、そしてなにより保護者の皆様方の献身なご参加に改めて感銘を受けました。武蔵野東幼稚園の歴史のなかで培われた素晴らしい伝統であると思います。また昨年は創立50年という、学園そして幼稚園にとって記念すべき大きな区切りの年でしたが、50年を振り返るさまざまな行事のなかで、改めて先輩方のご苦労や情熱のうえに現在の武蔵野東学園がある、という思いを新たに致しました。

今年は新しい50年の最初の年となります。皆さんと一緒に今まで以上に明るく楽しく活動に取り組み、幼稚園そして学園全体を応援して参りたいと考えております。
皆様どうぞ本年度も宜しくお願ひ致します。

小学校後援会 会長 荒井 秀伸

みなさんこんにちは。
本年度、小学校の後援会長を務めさせていただく荒井です。昨年、武蔵野東学園は創立50周年を迎え、祝賀会などの記念行事が執り行われました。記念行事において、今日に至るまで実に多くの方々が学園の創立、発展に尽力されたことを強く感じました。さて、「50周年を越えて継いでいくもの」について一言述べさせていただきます。先日、

会長挨拶

～50周年を越えて 繼いでいくもの～

寺田理事長先生から伺ったのですが、数年前、聖路加国際病院の日野原先生が東学園で講演されたとき、子どもたちにこう話されたそうです。